

2021年（令和3年）10月22日（金曜日）

東京、あすまで

「ルームス43」開幕

民報社 県内企業・学校紹介

にブースを設け、県内企業・学校の取り組みを紹介している。二十三日まで。

「ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）」（福島民報社主催）を受け、

た磐城高（いわき）、えんじょんらいふ福祉会（福島）、WATASII JAPAN（白河）の三社と、「第二回小

中学生まちづくり大賞（ふくしまジュニアチャレンジ）」（同）で

グランプリに輝いた只見中（只見）が活躍している。

えんじょんらいふ福祉会は通所する障害者が作製し、「ART

SAORI PLUSS」のブランド名で売り出している「さより

織り」のポーチなどを販売している。織機を持ち込み、綿の糸を織る実演も行い、来場者の注目を集めている。

「人と人、人と自然をつなぐ思い」をテーマ

磐城高は、いわき市産のヒノキの間伐材を利用した「旧校舎」やスギのチップを詰めた「眠り杉枕」を展示している。WATASII JAPANは着物をリサイクルし、県内の

新聞紙レジ袋に込めた思い語る

只見中生 オンライン参加

「ルームス43」の初日、只見中と会場をオンラインで結び、新聞紙レジ袋を配布して



只見中とつないで行ったトークショー

た。鈴木百緒（ねお）さん（三年）、酒井駿さん（三年）、増田司さん（二年）の三人が、新聞紙で作ったレジ袋を町内の商店などに納めている活動を説明し、「環境保護に力ける」意識が変われば行動が変わり、未来が変わる」などと訴えた。

取材を通して生徒と交流を深めている福島民報社の丹治隆南会津支局長も出演し、生徒を激励した。